

## ～現行ビジョンにおける策定から現在までの数値変化～

## 1 社会に関する指標

大学進学率、NPO法人数等は着実に上昇しているものの、人口減少、高齢化は急速に進んでおり、高齢単身世帯も増加している。自殺率は県下で最も高い水準にある。

## (1) 総人口

平成12年から平成27年までの15年間で約15%減少した。このまま人口減少が続くと、2050年には平成27年の約半分の7万人になると推計されている。(人)

区分	H12	H17	H22	H27	増減(H12-H27)
洲本市	52,248	50,030	47,254	44,258	△7,990(△15.3%)
南あわじ市	54,979	52,283	49,834	46,912	△8,067(△14.7%)
淡路市	51,884	49,078	46,459	43,977	△7,907(△15.2%)
淡路地域	159,111	151,391	143,547	135,147	△23,964(△15.1%)
全県	5,550,574	5,590,601	5,588,133	5,534,800	△15,774(△0.3%)

※ 総務省統計局「国勢調査報告」

## (2) 年齢別人口構成比

平成12年から平成27年までの15年間で老年人口の比率は、9.3ポイント増加した。2025年には、生産年齢人口が総人口の半分を下回り、2055年には、老年人口が半数を占め、生産年齢人口は40.6%になると推計されている。(%)

区分	淡路地域					全県				
	H12	H17	H22	H27	増減(H12-H27)	H12	H17	H22	H27	増減(H12-H27)
年少人口 (0～14歳)	14.6	13.3	12.5	11.7	△2.9	15	14.3	13.6	12.9	△2.1
生産年齢人口 (15～64歳)	60.5	59.3	57.4	53.7	△6.8	68.1	65.8	62.9	60.0	△8.1
老年人口 (65歳以上)	24.9	27.4	30.1	34.2	9.3	16.9	19.9	22.9	27.1	10.2

※ 総務省統計局「国勢調査報告」

## (3) 合計特殊出生率

淡路地域では洲本市を除いて上昇傾向にあり、全県と比べても高い水準にある。特に南あわじ市は県下トップの出生率である。

区分	H12	H17	H22	H27	増減(H12-H27)
洲本市	1.59	1.52	1.67	1.41	△0.18
南あわじ市	1.51	1.51	1.71	1.83	0.32
淡路市	1.47	1.29	1.37	1.62	0.15
淡路地域	1.52	1.44	1.58	1.62	0.10
全県	1.38	1.25	1.41	1.48	0.10
全国	1.36	1.26	1.39	1.45	0.09

※ 県情報事務センター、県統計課

(4) 小規模集落の数

小規模集落は全県、淡路地域ともに急速に増加している。

区分	H19	H22	H30	増減(H19-H30)
淡路地域	44	56	105	61
全県	221	270	577	356

※ 兵庫県

(5) 単独世帯割合（うち高齢者世帯）

各地域とも単独世帯の割合は増加しており、淡路地域においては単独世帯のうち半数以上が高齢者世帯である。全県と比較すると高い水準ではないが、農村地域の中では最も高い。

(%)

区分	H12	H17	H27	増減(H12-H27)
神戸地域	31.2(9.0)	33.2(11.0)	39.8(14.2)	8.6(5.2)
但馬地域	18.1(7.5)	19.7(8.7)	24.9(12.2)	6.8(4.7)
丹波地域	17.1(7.6)	18.8(8.8)	23.5(11.9)	6.4(4.3)
淡路地域	21.5(9.5)	22.2(10.8)	27.9(14.9)	6.4(5.4)
全県	24.9(7.4)	26.7(9.1)	32.7(12.4)	7.8(5.0)
全県との差	△3.4(2.1)	△4.5(1.7)	△4.8(2.5)	—

※ 総務省統計局「国勢調査報告」から作成

(6) 学校数、児童・生徒数等の推移

児童数、生徒数の減少に伴い、学級数及び学校数も減少している。

(小学校)

区分	H13	H22	R2	増減(H13-R2)	増減率
学校数	60	49	39	△21	△35.0%
学級数	467	425	351	△116	△24.8%
児童数(人)	9,232	7,696	6,118	△3,114	△33.7%

(中学校)

区分	H13	H22	R2	増減(H13-R2)	増減率
学校数	20	19	17	△3	△15.0%
学級数	182	154	135	△47	△25.8%
生徒数(人)	5,261	4,127	3,241	△2,020	△38.4%

(高等学校)

区分	H13	H22	R2	増減(H13-R2)	増減率
学校数	9	8	6	△3	△33.3%
生徒数(人)	5,202	3,762	2,862	△2,340	△45.0%

※ 学校基本調査

(7) 進学率 (大学等進学率)

大学等への進学率は、増加傾向にあるが、全県と比べると低い水準にある。

(%)

区分	H13	H17	H30	増減 (H13-H30)
淡路地域	45.7	49.4	49.5	3.8
全県	54.6	60.7	60.9	6.3
全県との差	△ 8.9	△ 11.3	△ 11.4	—

※ 学校基本調査

(8) NPO法人の数

淡路地域におけるNPO法人の数は着実に増加している。

	H13.3	H23.3	R2.6
法人数	1	51	59

※ 県民生活課 (平成10年 NPO法施行)

(9) 自殺者数

自殺者数は近年減少傾向にあり、令和元年は平成21年の半数となっているが、自殺率は全県と比べて高くなっている。

(人)

区分 年	淡路地域		全県
	自殺者数	自殺率	自殺率
H15	32	20.6	22.9
H16	52	33.1	23.3
H17	44	29.1	23.4
H18	42	28.1	24.1
H19	58	38.9	25.4
H20	36	24.5	21.9
H21	50	34.5	22.1
R1	25	19.3	16.0

※ 自殺者数は、人口動態調査による。自殺率は、人口10万人あたりの自殺率。

## 2 経済に関する指標

観光については、レジャー施設の利用客などにより主要観光地利用者数は増加している。産業については、第1次産業、第2次産業の就業者及び生産額が減少している。

### (1) 総生産額（名目）

平成29年度の総生産額は、平成13年度と比べて約1割減少しているが、平成20年度からは約7%増加している。産業別では第2次産業の落ち込みが激しい。

区分	H13	H20	H29	(H29-H13)	就業者1人あたり（千円）			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	H13	H20	H29	(H29-H13)
淡路地域	492,747	417,515	447,713	△ 45,034	5,807	5,135	6,266	459
第1次産業	34,633 (6.7%)	24,116 (5.6%)	27,041 (6.1%)	△ 7,592 —				
第2次産業	173,741 (33.8%)	94,239 (21.8%)	80,260 (18.0%)	△ 93,481 —	—	—	—	—
第3次産業	305,858 (59.5%)	313,387 (72.6%)	338,209 (75.9%)	32,351 —				
全県	18,528,668	19,096,572	21,328,823	2,800,155	8,070	8,044	8,876	806
対全県比	2.66%	2.19%	2.10%	—	72.0%	63.8%	72.0%	70.6%

※県統計課

### (2) 産業別就業者構成比

第1次産業及び第2次産業から第3次産業へ労働者がシフトしている。

(%)

区分	淡路地域				全県			
	H12	H17	H27	(H27-H12)	H12	H17	H27	(H27-H12)
第1次産業	20.2	19.5	17.6	△ 2.6	2.5	2.5	2.1	△ 0.4
第2次産業	27.8	25.5	22.2	△ 5.6	30.9	27.7	26.0	△ 4.9
第3次産業	52.0	55.0	60.2	8.2	66.6	69.8	71.9	5.3
計	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—

※総務省統計局「国勢調査報告」

### (3) 産業別就業者数の推移

いずれの産業においても平成2年と比べて半数近く減少している。

(人)

	農業				漁業			
	H2	H17	H27	H2比	H2	H17	H27	H2比
洲本市	3,731	1,548	2,019	54.1%	796	497	391	49.1%
南あわじ市	8,806	6,874	5,550	63.0%	989	628	455	46.0%
淡路市	4,718	3,192	2,037	43.2%	2,009	1,295	1,132	56.3%
淡路地域	17,255	11,614	9,606	55.7%	3,794	2,420	1,978	52.1%
	建設業				製造業			
	H2	H17	H27	H2比	H2	H17	H27	H2比
洲本市	2,292	1,781	1,533	66.9%	5,449	3,048	3,078	56.5%
南あわじ市	2,075	2,446	1,704	82.1%	6,740	5,329	3,966	58.8%
淡路市	2,438	2,327	1,386	56.8%	4,998	3,580	2,913	58.3%
淡路地域	6,805	6,554	4,623	67.9%	17,237	11,957	9,957	57.8%

※総務省統計局「国勢調査報告」

(4) 農業産出額

平成30年度の農業産出額は、平成13年度と比べて約6%減少しているが、平成19年度からは淡路地域及び全県ともに増加している。

(千万円)

区分	H13	H19	H30	増減(H13-H30)
淡路地域	3,756	3,497	3,535	△221(5.9%)
全県	16,355	14,622	15,114	△1,214(7.4%)
対全県比	23.0%	23.9%	23.4%	—

※ 県統計課

(5) 漁業生産額

平成29年度の漁業生産額は、平成13年度と比べて約14%減少しているが、平成19年度からは瀬戸内海区及び全県ともに増加している。

(百万円)

区分	H13	H20	H29	増減(H13-H29)
瀬戸内海区	45,950	31,662	39,637	△6,313(13.7%)
全県	55,816	41,355	49,868	△5,948(10.7%)
対全県比	82.3%	76.6%	79.5%	—

※ 近畿農政局兵庫農政事務所「漁業生産額」

(6) 製造品出荷額等

全県が増加しているのに対し、淡路地域では減少を続けており、平成29年度の製造品出荷額等は、平成13年度と比べて6割以上落ち込んでいる。

(万円)

区分	H13	H21	H29	増減(H13-H29)	1事業所当たり
淡路地域	43,708,766	22,526,758	16,092,375	△27,616,391(63.2%)	51,087
全県	1,312,128,846	1,338,398,772	1,566,588,114	254,459,268(19.4%)	200,896
対全県比	3.3%	1.7%	1.0%	—	—

※ 県統計課

(7) 地場産業の生産額

すべての産業において生産額は減少しているが、特に粘土瓦の落ち込みが激しい。

(百万円)

区分	H13	H20	H30	増減(H13-H30)
粘土瓦	13,478	4,413	2,327	△11,151(82.7%)
線香	11,089	12,000	10,828	△261(2.4%)
手延べ素麺	159	109	76	△83(52.2%)
真珠核	470	300	140	△330(70.2%)

※ 淡路県民局

(8) 商品販売額

平成28年度の商品販売額は、平成14年度と比べて2割以上減少した。

(万円)

区分	H14	H19	H28	増減(H14-H28)	1店舗当たり
淡路地域	30,891,005	27,274,521	23,965,043	△6,925,962(22.4%)	13,501
全県	1,317,756,522	1,326,926,426	1,437,938,318	120,181,796(9.1%)	34,196
対全県比	2.3%	2.1%	1.7%	—	—

※ 県統計課

(9) 主要観光地利用者数

主要観光地利用者数は増加傾向にあり、平成30年度は平成13年度と比べて2割以上増加しているが、その内訳を見ると、ほとんどが日帰り客で宿泊客はほぼ横ばいである。

(千人)

区分	H13	H21	H30	増減 (H13-H30)
淡路地域	10,347	12,128	12,567	2,220 (21.5%)
全県	119,178	136,087	137,006	17,828 (15.0%)
対全県比	8.7%	8.9%	9.2%	—

※ 兵庫県観光客動態調査

(10) 1人当たり市町民所得

平成29年度の1人当たり市町民所得は、平成13年度と比べて4%上昇した。

(千円)

区分	H13	H20	H29	増減 (H13-H29)
淡路地域	2,377	2,210	2,473	96 (4.0%)
全県	2,657	2,740	2,966	309 (11.6%)
対全県比	89.5%	80.7%	83.4%	—

※ 県統計課

### 3 環境に関する指標

再生可能エネルギー自給率の上昇、下水道普及率などの環境関連施設の整備など、環境への取組が着実に進んでいる。

#### (1) 二酸化炭素排出量

温室効果ガス排出量の9割を占める二酸化炭素排出量は、平成17年度と比べて各市3割～5割の削減となっている。

(t-CO2)

	H17	H25	H28	H29	H17比
洲本市	438,127	299,406	268,233	267,363	△39%
南あわじ市	427,962	283,880	241,328	215,439	△49.7%
淡路市	320,170	259,475	234,498	221,081	△30.9%

※ 地域E-CO2ライブラリー

#### (2) 再生可能エネルギー自給率

平成23年12月に国の地域活性化総合特区の指定を受け、エネルギーの持続に向けた取組の結果、県下で最も高い自給率となっている。

(%)

区分	H19	H20	H30
洲本市	1.82	1.93	36.30
南あわじ市	16.92	20.60	70.60
淡路市	2.71	2.86	117.50
全県	1.23	1.27	13.51

※ 永続地帯報告書

#### (3) 下水道普及率

令和元年度の下水道普及率は平成14年度と比べて33.3ポイント上昇したが、依然県下では最も低い地域となっている。

(%)

区分	H14	H21	R1	増減(H14-R1)
淡路地域	19.0	44.5	52.3	33.3
全県	84.9	91.1	93.3	8.4
全県との差	△65.9	△46.6	△41.0	—

※ 兵庫県

#### (4) 菜の花エコプロジェクトの推進

環境のシンボリックなプロジェクトである「あわじ菜の花エコプロジェクト」は、増減はあるものの着実に取組を進めている。

区分	H18	H22	R1	増減(H18-R1)
菜の花栽培面積(ha)	10	45	44	34
廃食用油回収量(L)	13,292	33,256	29,556	16,264
BDF精製量(L)	9,229	21,623	8,500	△729

※ 淡路県民局